



# 図書館員が選ぶ この一冊

15

『モモ』ミハエル・エンデ/著  
大島かおり/訳 岩波書店

モモ

ミハエル・エンデ著  
大島かおり訳



とある円形劇場に住み着いた女の子モモは、たくさんの友達に慕い、頼られ、楽しい日々を過ごしていた。しかし「時間貯蓄銀行」を名乗る灰色の男たちが現れ、「時間を大切に！」と言いながら、時間を盗み始めた。すると次第に友達はせかせかし、心のゆとりを失っていく。盗まれた時間を取り戻すため、モモは未来を見通すカメのカシオペアと時間の国へ向かう。

児童文学でありながら幅広い年齢層が楽しく読める作品。大人になって改めて読み返すもよし、家族・友達みんなで感想を語り合うもよし。時間の大切さについて深く考える一冊となるだろう。